

心のバリアフリーいっぱいの地域と共に育つ 障害理解の出前授業

互いの違いや多様な在り方を認め合い、支え合う共生社会の実現に向けて、障害理解の生きる素地づくりから、実践行動の定着を目指します。

実際に交流活動で
自分の変化を実感する

自分ならどうする？
何が出来る？を考える

疑似体験を通して、自分の事として感じる、受け止める

いろいろな人がいることに気づく・知る

交流及び
共同学習等

出前授業

出前授業は、様々な障害に関する種類や特性などについて、体験を通して学び、障害に関する理解を深め、具体的ななかかわり方や互いの違いを認め合い、思いやりの心を育むことができるようなプログラムになっています。交流活動(居住地校交流含む)とセットでの実施はさらに効果的です。小・中学校、高等学校、一般の方などご相談ください。



令和5年度に実施した障害理解授業を紹介します

「ゲストティーチャー」 (居住地校交流事前学習)

- ① 比内支援学校について(行事や学習活動など)
- ② 在籍する児童生徒のこと
- ③ 交流する児童生徒のこと(得意、困り感について)
- ④ 仲良くするためのポイントの確認と体験活動



「障害理解授業」 (小学校通常学級での授業)

感情をコントロールできない、友達とトラブルを起こすなど、発達障害をもつ児童についての理解と関わり方について一緒に考えました。

- ・困っている人がいたらどうするかを、「き(気付く)・こ(声を掛ける)・う(動く)」のキーワードで体験し、考える活動。
- ・身近な友達の苦手さを知り、今後の関わり方について考える活動。



「障害理解授業」 (高等学校 交流事前学習)

相手の立場に立って、「困り感」を想像したり、実際にできることを考え【動く】こと。【その時動く】には、「知ること、経験すること、想像すること」が大事です。

- ・「地震時に聴覚障害の方が感じること」、「知的障害の方が体調の悪さをうまく伝えられないときの感じ方」等の疑似体験をし、自分ができることを考える活動。



秋田県立比内支援学校

教頭 : 佐藤 香代子

地域支援部: 市川千恵子

TEL: 0186(55)2131 FAX: 0186(55)2132

E-mail: hinai-s@akita-pref.ed.jp

